

日中共同世論調査

記者会見資料

2007年8月17日

【日本編】

認定特定非営利活動法人

言論NPO

0. 日本世論調査の概要

【世論調査】

調査地域：日本全国

調査対象：18歳以上(高校生除く)の男女

抽出方法：日本全国で50地点。1地点の標本数は20。性・年代別の回収構成比が、平成17年国勢調査の日本全国の構成比にあうように割り当てる。

調査方法：訪問留置回収法

調査期間：5月11日(金)～6月3日(日)の24日間

有効回収標本：1000標本

回答者属性：性別は、男性が48.5%、女性が51.5%である。

学歴は、小・中学校卒が10.3%、高等学校卒が52.9%、短大・高専卒が16.5%、大卒が17.9%、院卒が0.7%となっている。年齢は、20歳未満が2.2%、20～29歳が14.8%、30～39歳が17.0%、40～49歳が15.0%、50～59歳が18.5%、60歳以上が32.5%である。

【調査結果の見方】

SA(Single Answer)は四捨五入をしているため、必ずしも100%とならない。

経年比較は、必ずしも選択肢が同じではない場合があるため、注記を参照されたい。

標本数	2005年	2006年	2007年
世論調査	1000	1000	1000
有識者調査	344	327	300

【有識者アンケート】

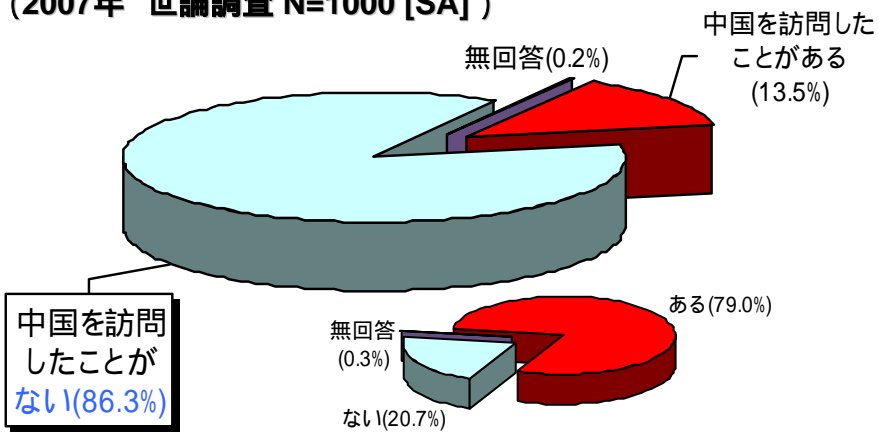
有識者アンケートは言論NPOの活動にこれまで参加していただいた2000人の有識者に世論調査の内容を中心として専門的な内容も盛り込んだアンケート文を郵送し、回答のあった300人の回答内容を分析した。

学歴は大卒が72.3%、大学院卒が21.0%で合わせて93.3%となり、日本社会で活躍する特に男性インテリ層の平均的な姿を示している。

1. 低迷続く中国との直接交流 (中国への訪問、中国人の知人の有無)

中国訪問経験

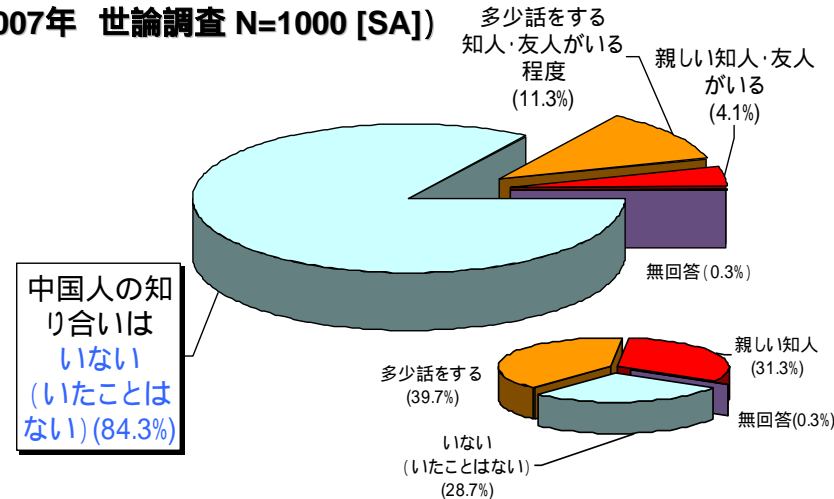
(2007年 世論調査 N=1000 [SA])



(参考) 2007年 有識者調査 N=300

中国人の知人

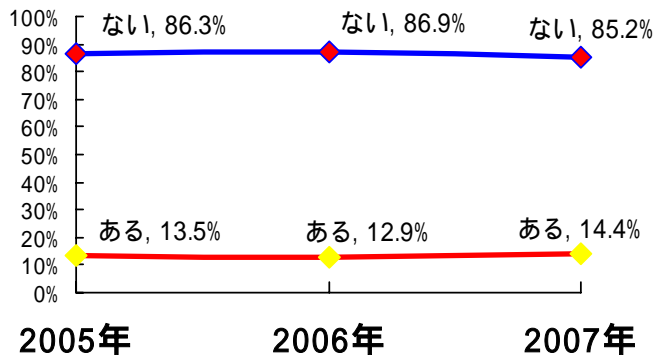
(2007年 世論調査 N=1000 [SA])



(参考) 2007年 有識者調査 N=300

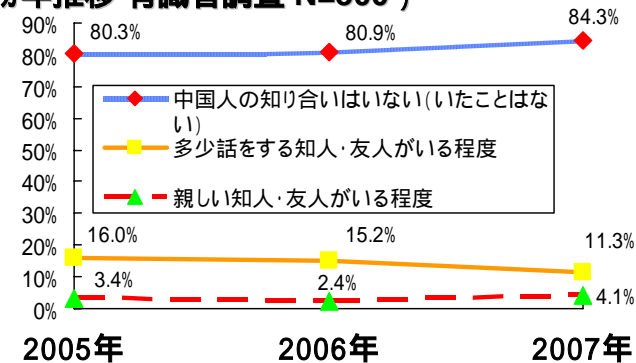
中国訪問経験

(3カ年推移 世論調査 N=1000)



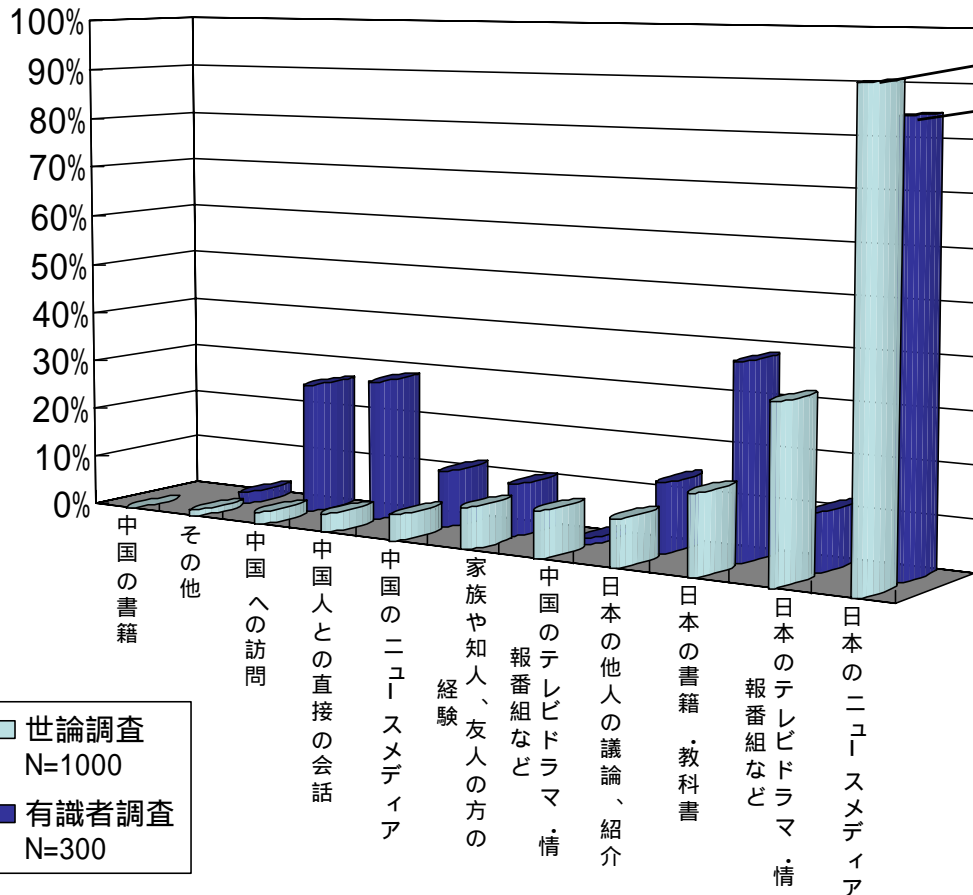
中国人の知人

(3カ年推移 有識者調査 N=300)



2. 情報源は日本のニュースメディア (中国、日中関係の情報源)

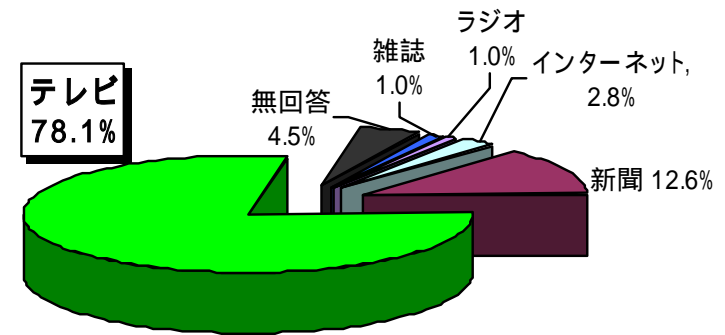
中国・日中関係に関する情報源は？ (2007年 世論・有識者調査 [MA])



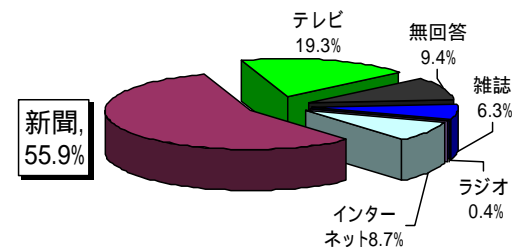
「日本のニュースメディア」 (テレビニュース、新聞、雑誌、インターネット、ラジオ)

- 世論調査: 91.3%
- 有識者調査: 84.7%

「日本のニュースメディア」の内訳 (2007年 世論調査 [SA] N=1000)



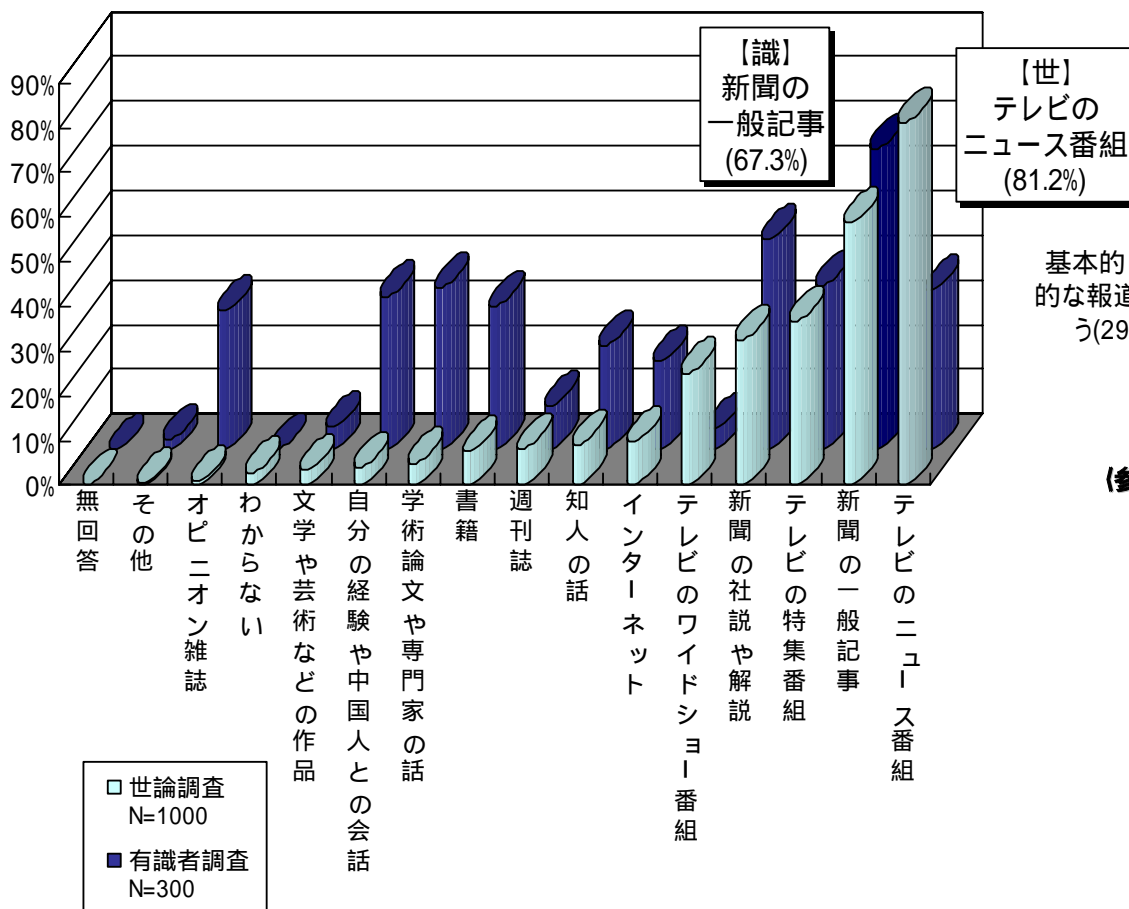
(参考) 2007年 有識者調査 [SA] N=300



3.報道の客観性は疑問 (メディア報道の「信頼性」)

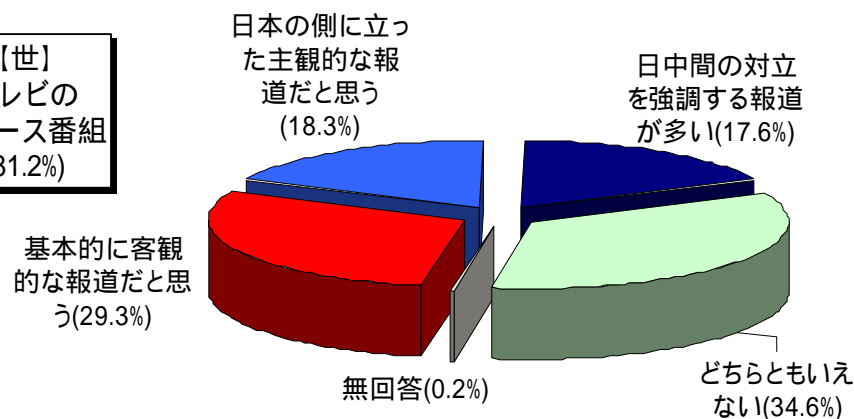
「重視する」メディアは？

(2007年 世論・有識者調査 [MA])

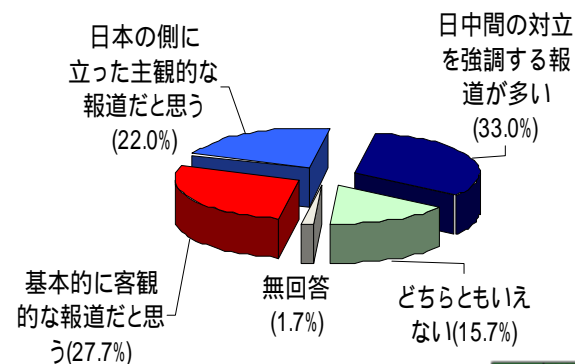


日本のメディアは客観的か？

(2007年 世論調査 [SA] N=1000)



(参考) 2007年 有識者調査 [SA] N=300

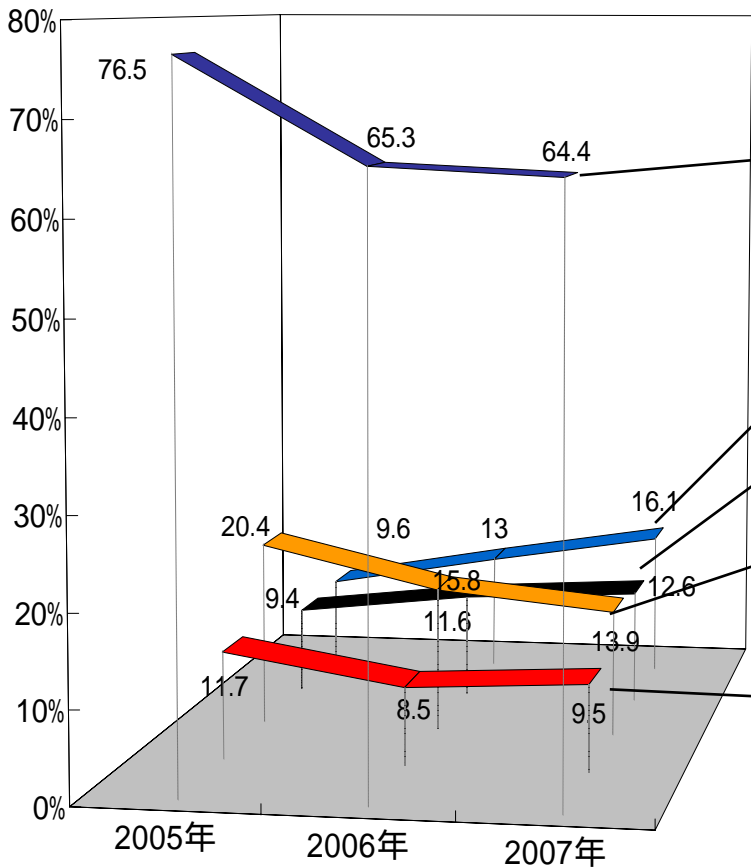


4.中国への関心度は低下気味 (中国情報への関心度)

中国情報への接触の程度は？

(2007年 世論調査 [MA] N=1000)

(参考) 2007年 有識者調査 [MA] N=300



DOWN !

日本の新聞、雑誌、
テレビなどで中国
の情報を知る程度

UP !

ほとんど接触がない

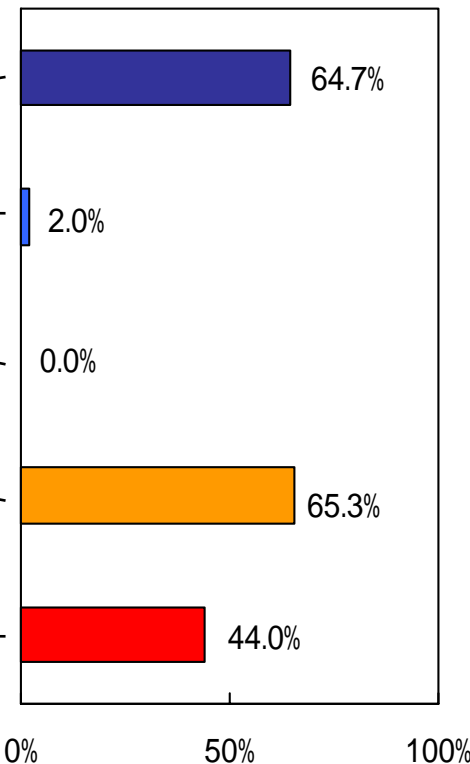
UP !

関心がない

DOWN !

中国の文化(文学、
音楽、舞踊、劇、エ
ンターテインメント)に
触れたことがある

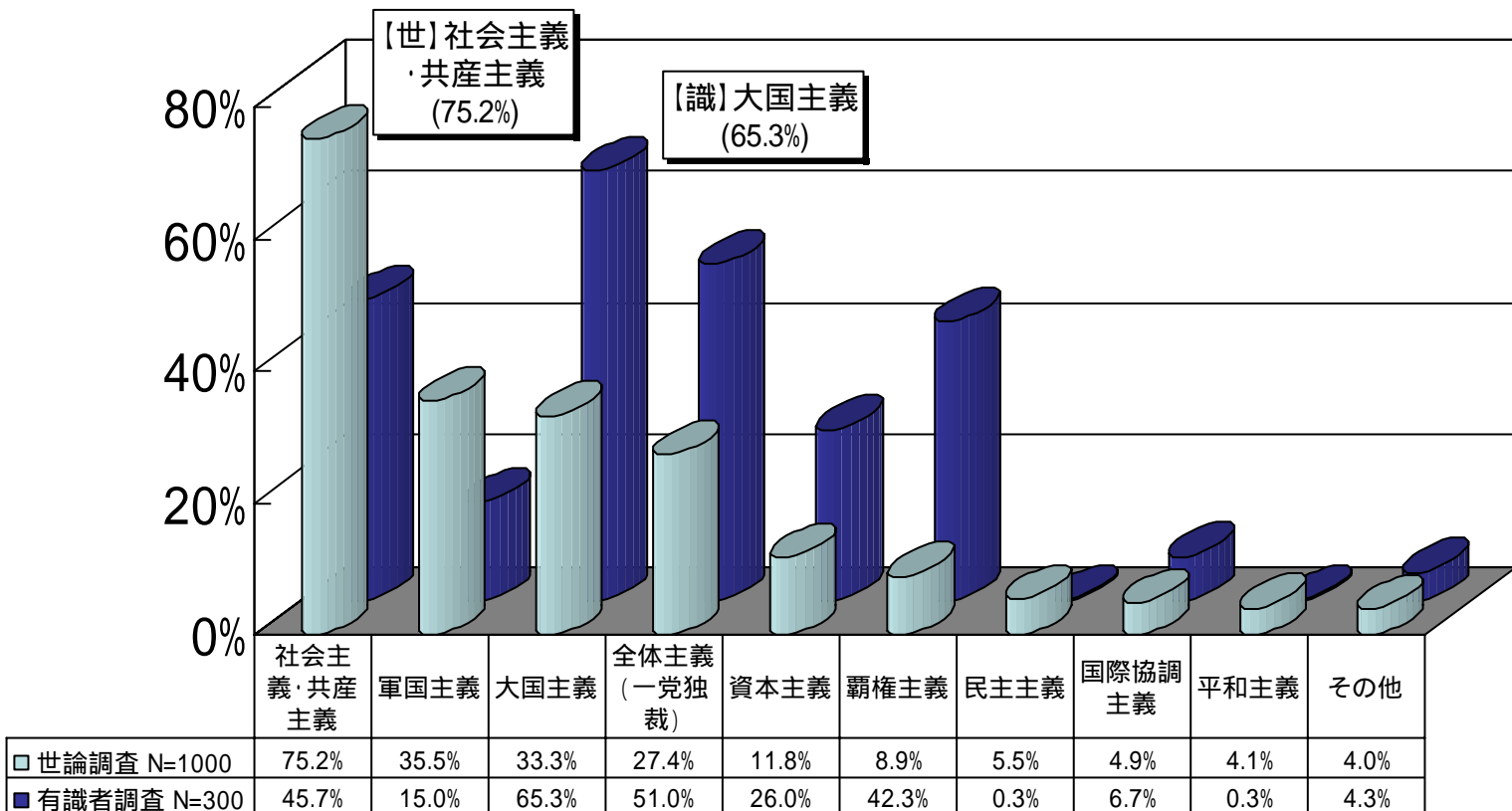
中国側のメディア
(テレビ番組や新聞)、あるいはイン
ターネットなどをみ
たことがある



5. 中国は社会主義か大国主義か (現代中国の政治思潮)

現代中国の政治思想の流れは？

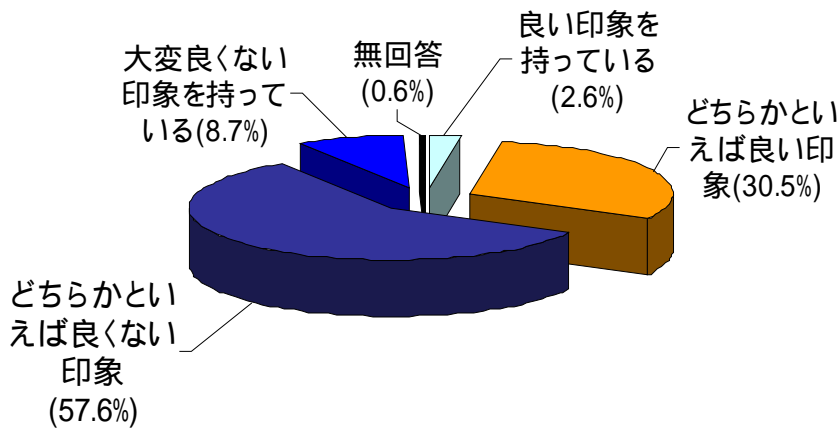
(2007年 世論・有識者調査 [MA])



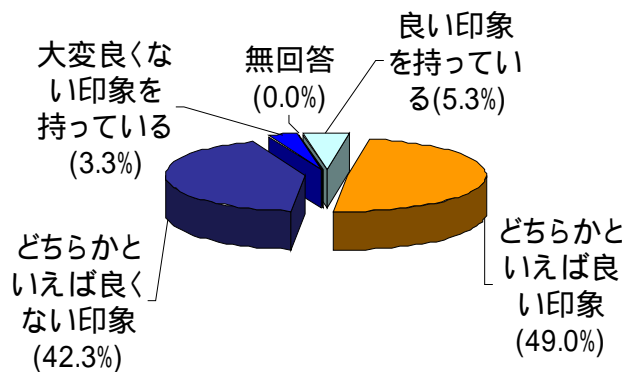
6. 「どちらかと言えば良くない印象」 (中国への印象)

中国の印象は？

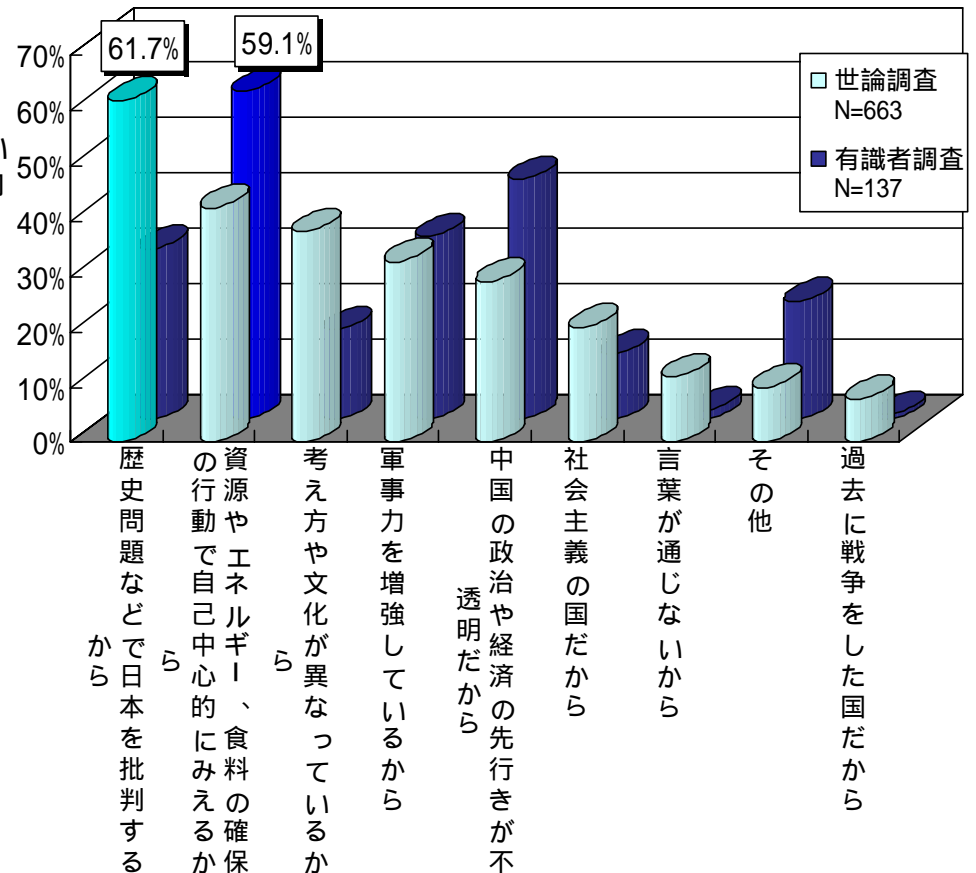
2007年 世論調査 [SA] N=1000



(参考) 2007年 有識者調査 [SA] N=300



中国の印象が良くない理由は？ (2007年 世論・有識者調査 [MA])

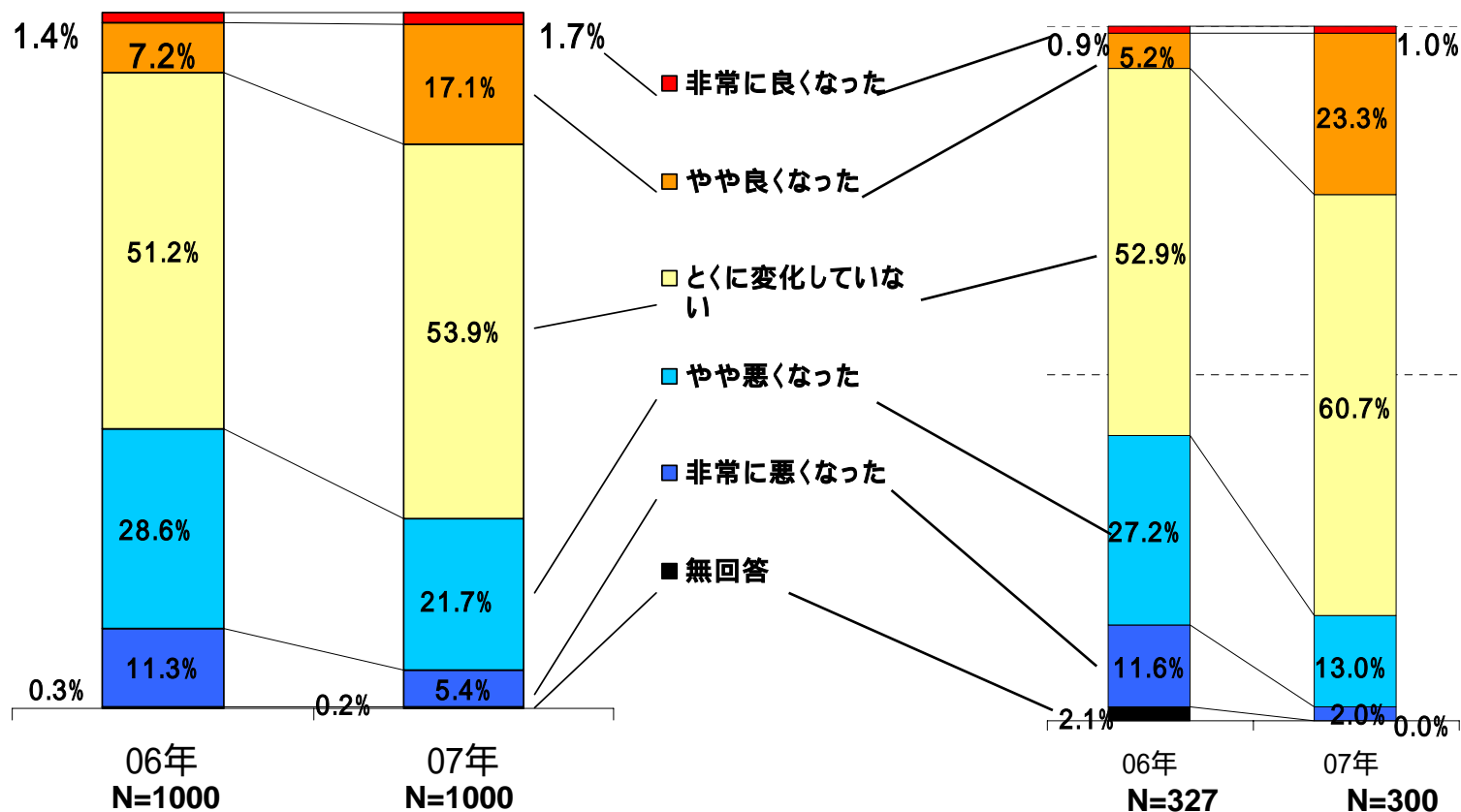


7.悪化傾向には歯止めがかかる (この一年間の印象の変化)

この一年間で中国に対する印象の変化は？

【世論調査】 SA

【参考】【有識者調査】 SA

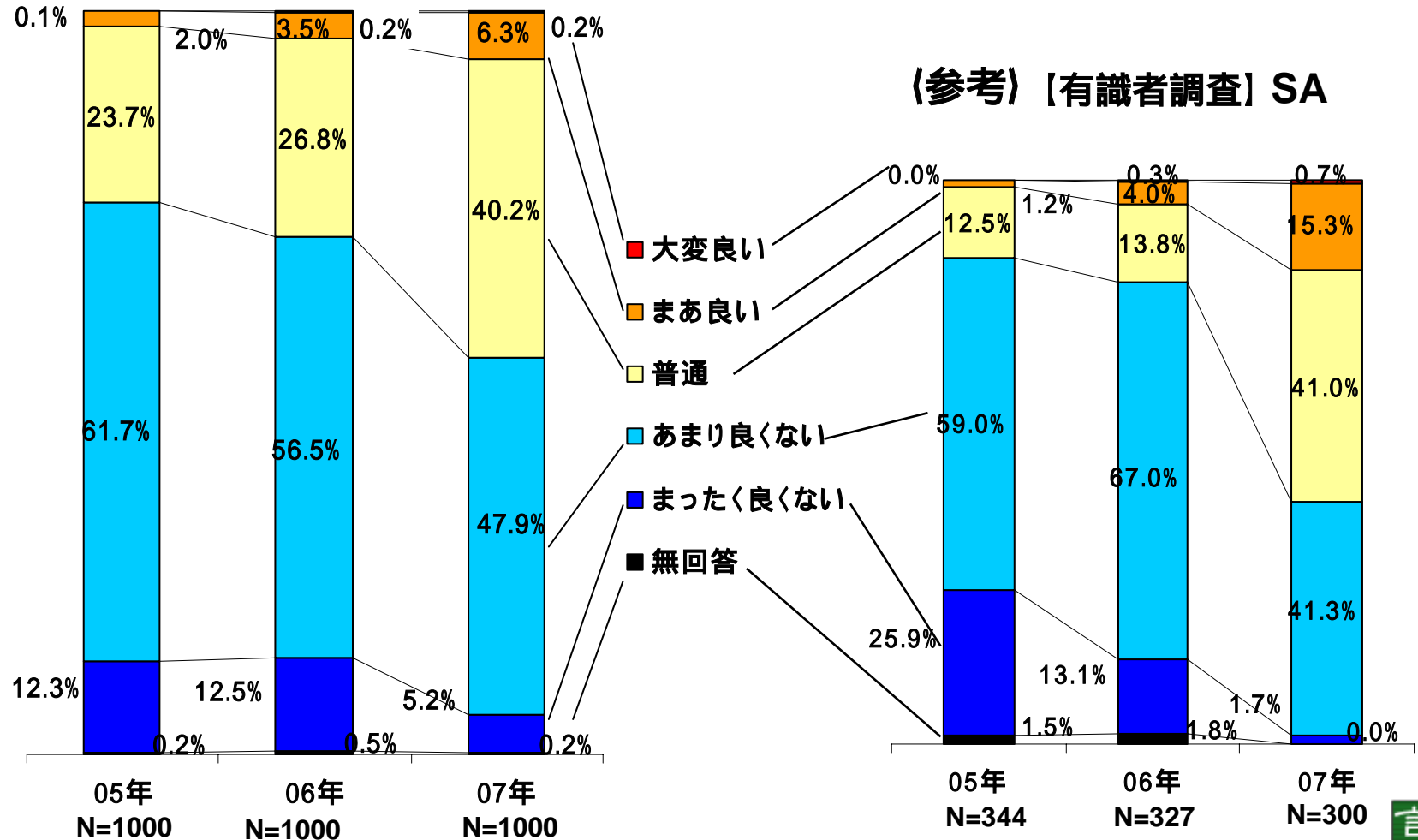


8. 日中関係は「あまり良くない」 (現在の日中関係について)

現在の中国に対する印象は？

【世論調査】 SA

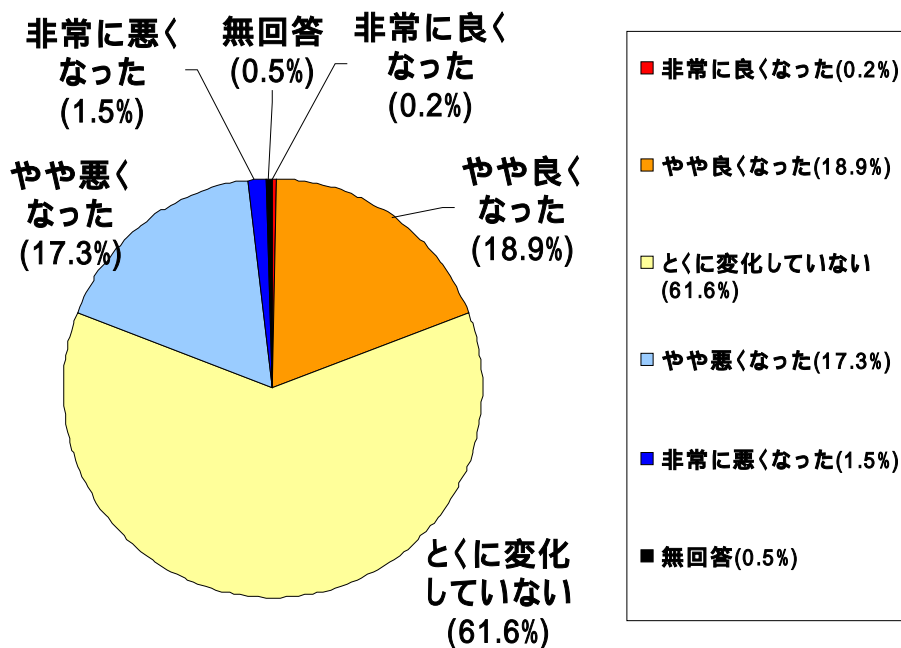
〔参考〕【有識者調査】 SA



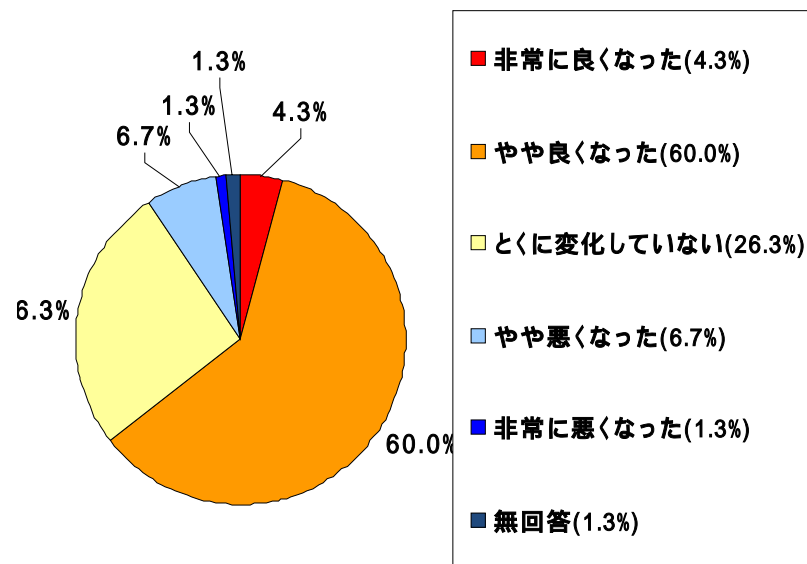
9. 「日中関係は特に変化していない」 (この一年間の日中関係の評価)

この一年間の日中関係に対する印象は？

2007年【世論調査】 N=1000 SA



【参考】 2007年【有識者調査】 N=300 SA

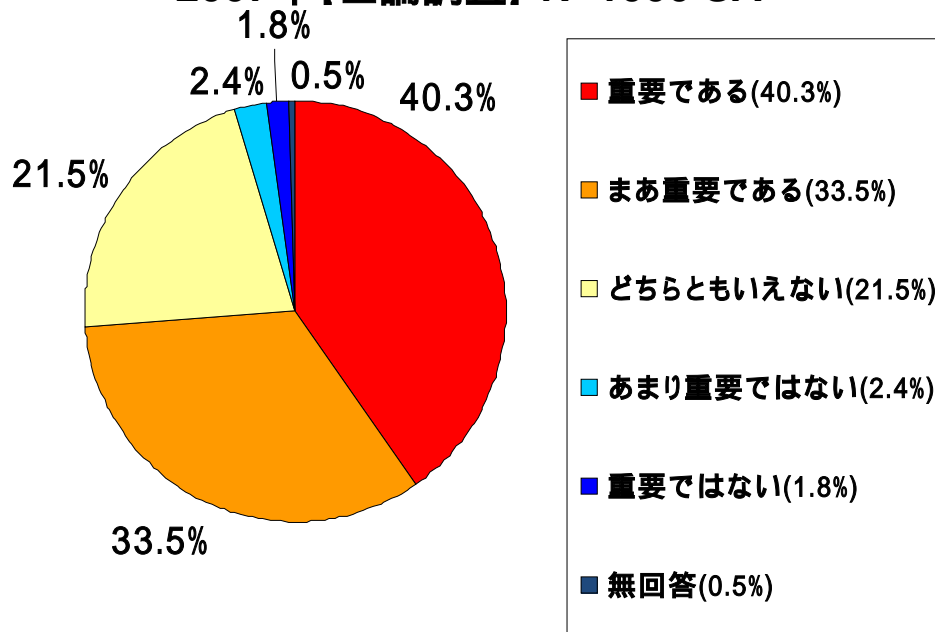


	非常に良くなった	やや良くなった	とくに変化していない	やや悪くなった	非常に悪くなった	無回答
07年 N=300	4.3%	60.0%	26.3%	6.7%	1.3%	1.3%
06年 N=327	0.9%	5.2%	52.9%	27.2%	11.6%	2.1%

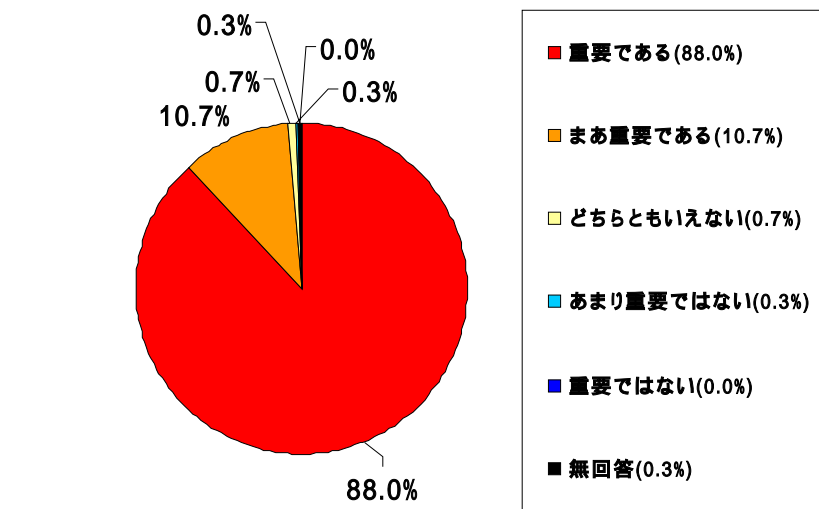
10.日中関係は重要である (日中関係は重要か)

日中関係は現在や今後の日本にとって重要か？

2007年【世論調査】 N=1000 SA



〈参考〉 2007年【有識者調査】 N=300 SA



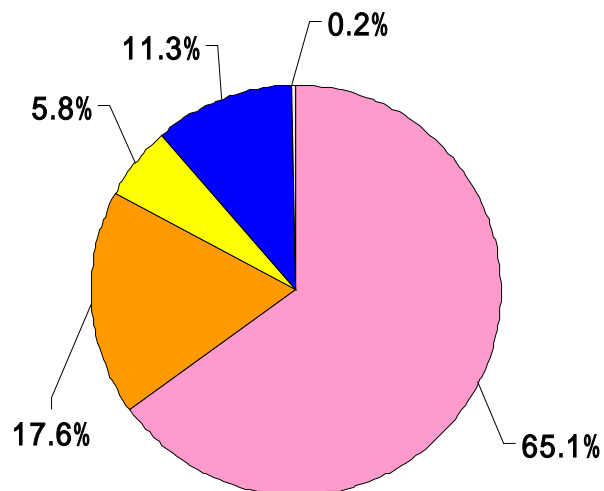
	重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
07年 N=1000	40.3%	33.5%	21.5%	2.4%	1.8%	0.5%
06年 N=1000	41.0%	31.6%	22.7%	3.0%	1.2%	0.5%
05年 N=1000	46.7%	29.8%	18.9%	3.2%	1.0%	0.4%

	重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
07年 N=300	88.0%	10.7%	0.7%	0.3%	0.0%	0.3%
06年 N=327	81.7%	15.3%	0.6%	0.6%	0.6%	1.2%

11. 首脳相互訪問は知っている (日中の首脳会談再開について)

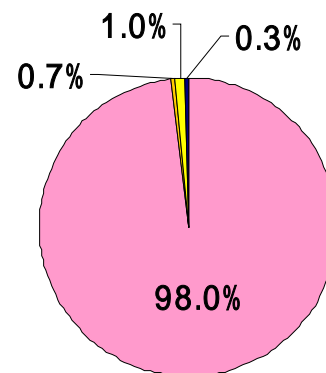
2006年10月の安倍首相訪中、2007年4月の温家宝首相の訪日を知っているか？

2007年【世論調査】 N=1000 SA



- どちらの訪問も知っている(65.1%)
- 安倍首相の訪中だけ知っている(17.6%)
- 温家宝首相の訪日だけ知っている(5.8%)
- どちらの訪問も知らない(11.3%)
- 無回答(0.2%)

(参考) 2007年【有識者調査】 N=300 SA

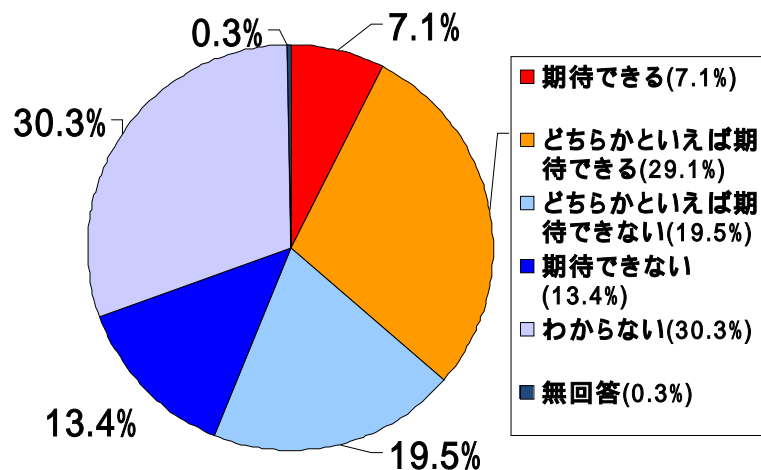


- どちらの訪問も知っている(98.0%)
- 安倍首相の訪中だけ知っている(0.7%)
- 温家宝首相の訪日だけ知っている(1.0%)
- 無回答(0.3%)

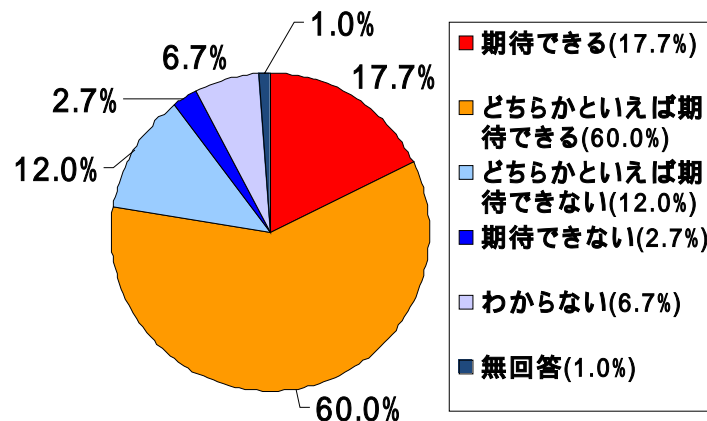
12. 期待定まらぬ首脳会談 (首脳会談は関係改善に期待できるか)

日中首脳会談に今後の相互理解の促進、両国関係の改善が期待できるか？

2007年【世論調査】 N=1000 SA



(参考) 2007年【有識者調査】 N=300 SA



(参考) 2005年、2006年調査

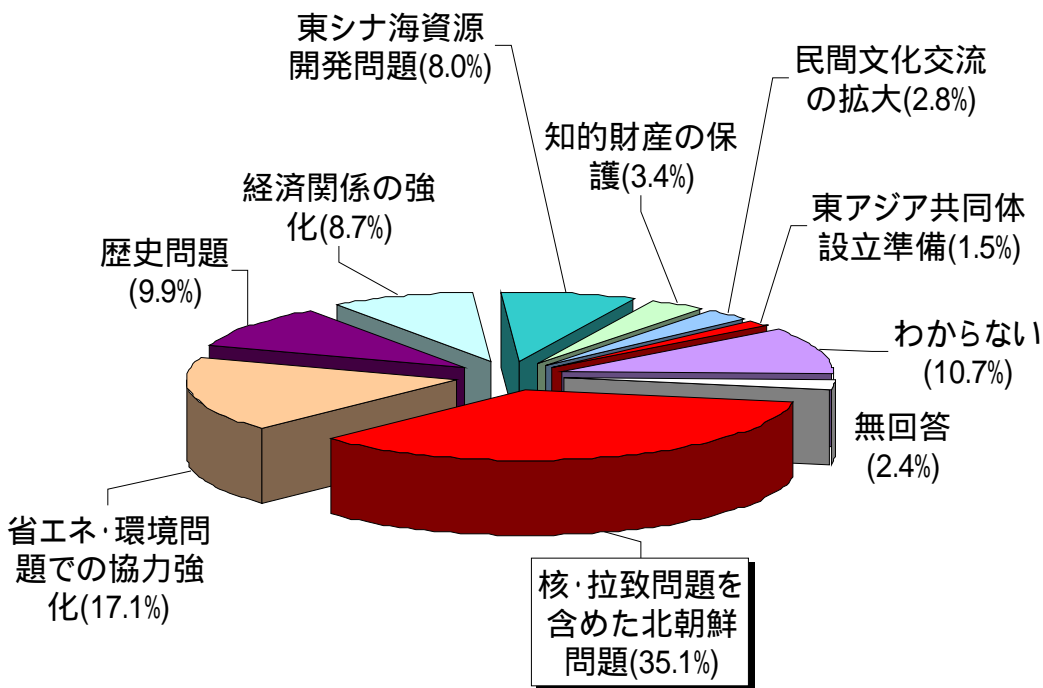
問35.日本と中国の首脳会談の再開は相互理解の促進、両国関係の改善に重要だと思いますか、思いませんか

【世論調査】	重要だと思う	まあ重要だと思う	どちらともいえない	あまり重要だとは思わない	重要だとは思わない	無回答
2006年度 N=1000	50.7%	28.4%	15.8%	3.1%	1.5%	0.5%
2005年度 N=1000	43.9%	33.8%	17.3%	3.1%	1.8%	0.1%

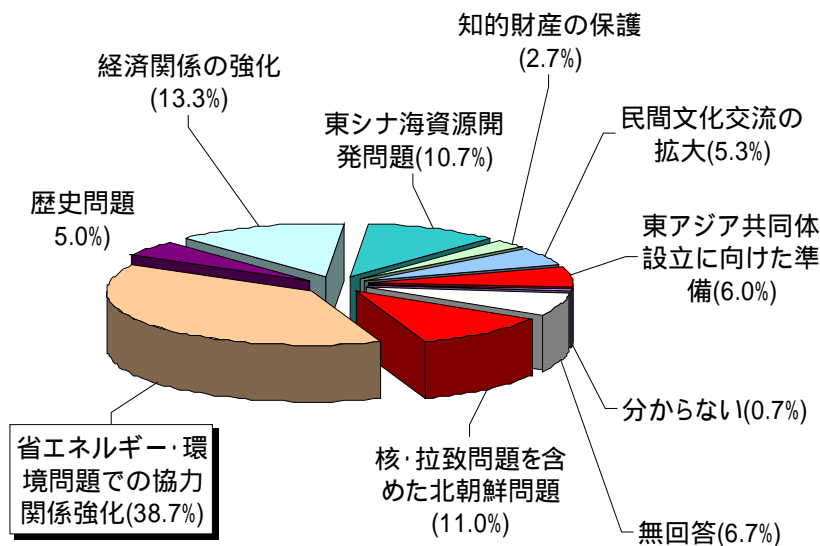
13. 拉致・核を含む北朝鮮問題と省エネ環境問題 (首脳会談で議論して欲しい課題)

今後、日中首脳会談で最も議論して欲しい課題は何か？

2007年 世論調査 [SA] N=1000



(参考) 2007年 有識者調査 [SA] N=300



14. 日中の経済関係は互いが脅威なのか

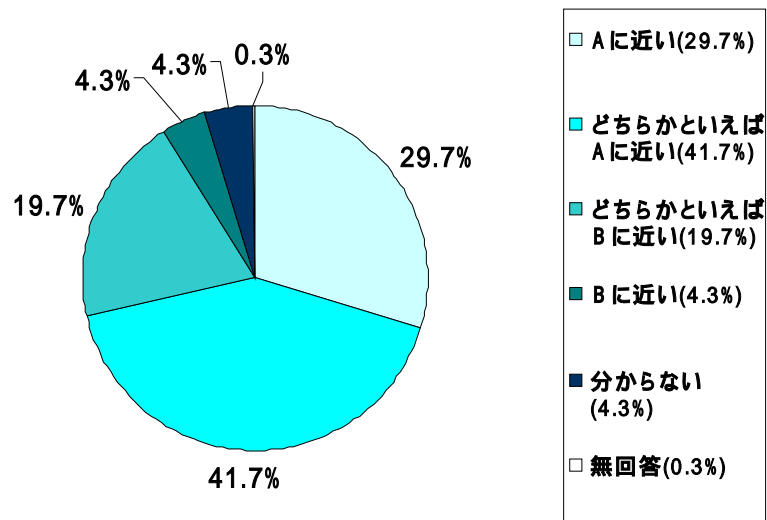
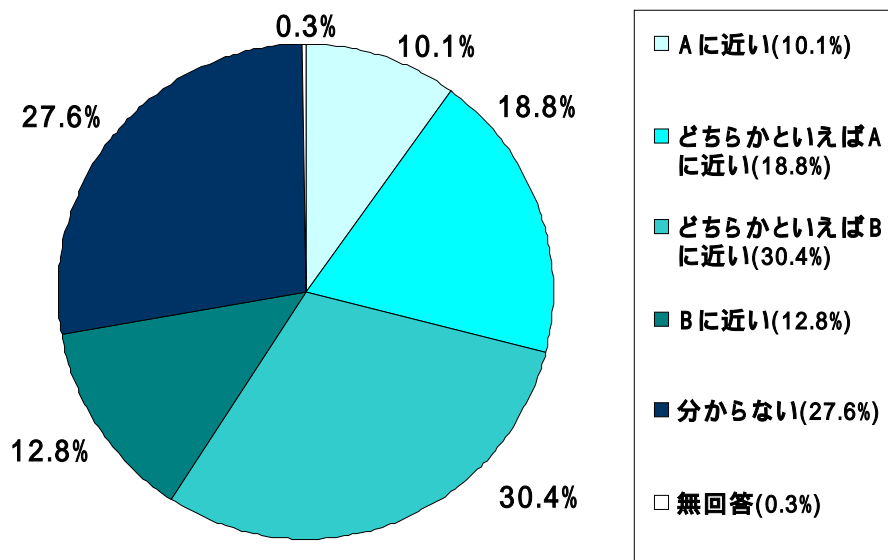
日本と中国の経済関係についてあなたはAとBのどちらの見方に近いですか。

(A) 日中関係は現在、両者ともにメリットのある良好な経済関係を築いている

(B) 日中間の経済競争が拡大し、お互いが脅威になっている

2007年【世論調査】 N=1000 SA

(参考) 2007年【有識者調査】 N=300 SA



* 総数には、2つ以上の選択肢に回答した人も含む。

(参考) 2006年調査 「日本と中国との経済関係についてどう思いますか。」

	互いの国の経済にとって良い関係	日本経済が中国経済を脅かしている	中国経済が日本経済を脅かしている	分からない	無回答
2006年 N=1000	22.1%	4.0%	35.7%	37.4%	0.8%

	互いの国の経済にとって良い関係	日本経済が中国経済を脅かしている	中国経済が日本経済を脅かしている	分からない	無回答
2006年 N=327	69.4%	0.9%	19.6%	8.9%	1.2%

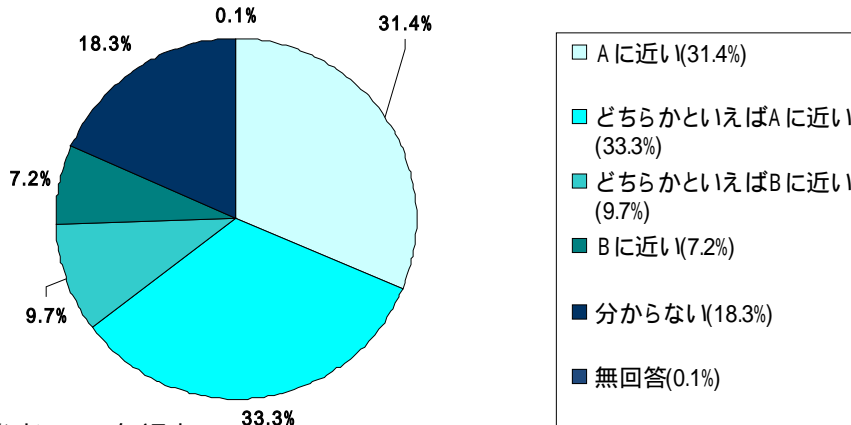
15. 資源・エネルギー問題は対話での解決を

経済成長に伴い、資源・エネルギーの確保が中国のますます重要な問題となってきていますが、これについて、日本と中国との関係はどうあるべきだと思いますか。AとBのどちらの見方に近いですか。

(A)日本は資源・エネルギー問題上、中国との協力を追及すべきで、この問題で対中関係を悪化させず、たとえ問題が生じても対話によって解決するよう努力すべきだ

(B)日本の資源・エネルギー問題は中国と関係がない問題であり、たとえ中国と対抗しても日本は独自に政策を策定して国益を確保すべきだ

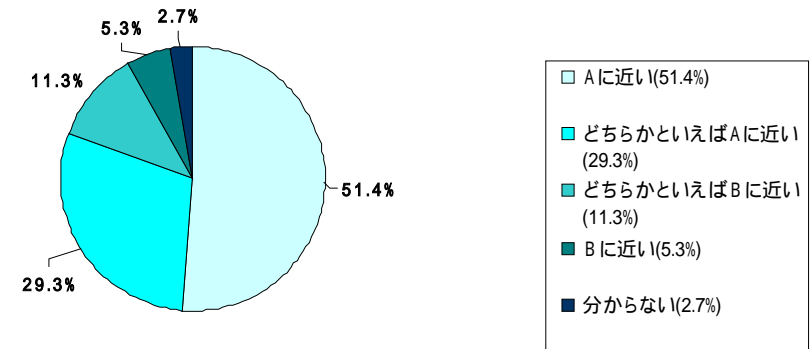
2007年【世論調査】 N=1000 SA



(参考)2006年調査

「経済の急激な成長に伴い、中国は世界的に資源の獲得を進めています。その一端として東シナ海でも天然ガス田などの資源をめぐって中国と日本の対立が起こっています。このことについてあなたはどのように思いますか」。

【参考】 2007年【有識者調査】 N=300 SA

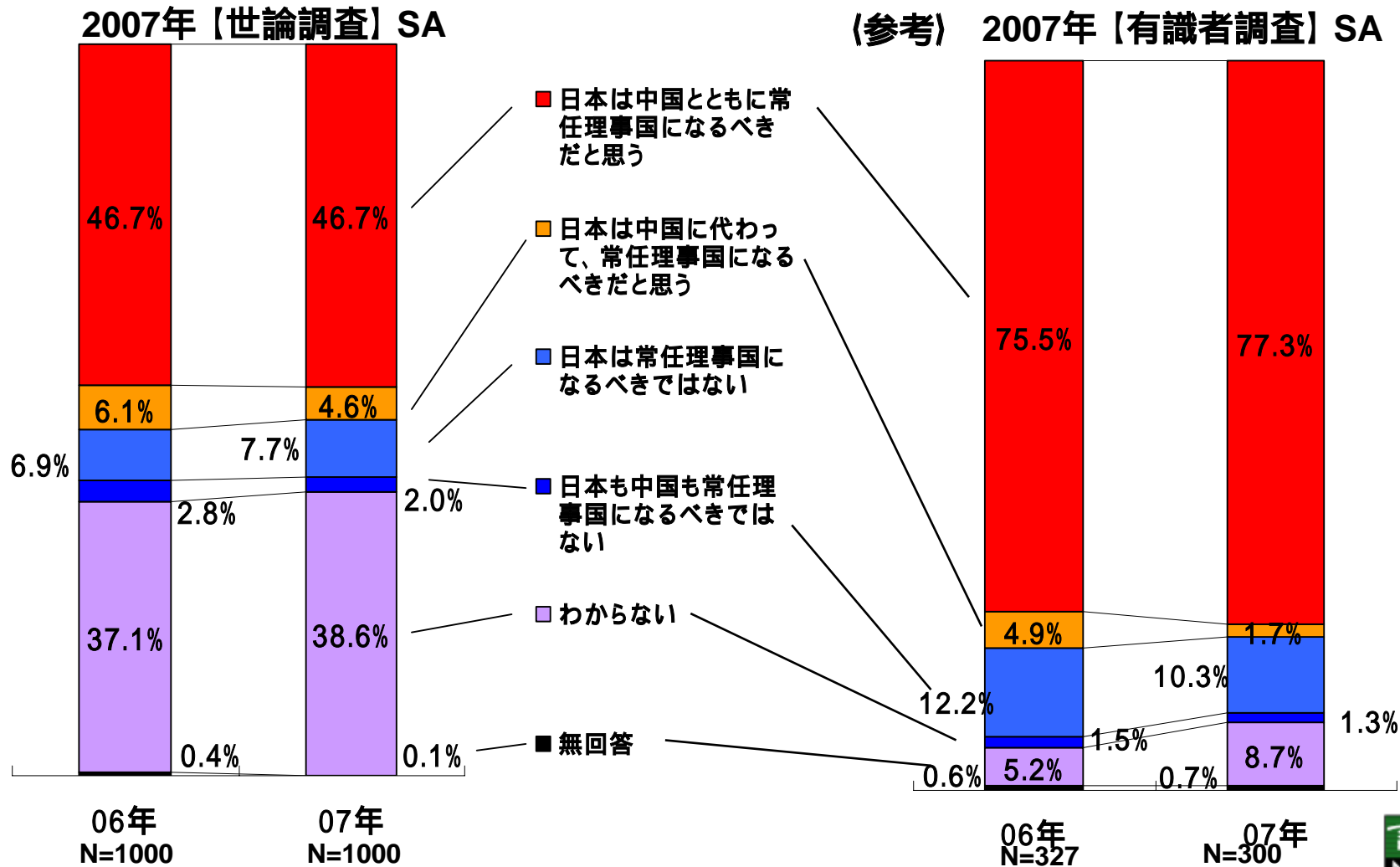


	資源問題での日中の協力関係ができる	日中政府間協議で妥協案が合意	日中関係全般に悪影響となる可能性	いずれ紛争に発展する可能性がある	その他	分からない	無回答
2006年	6.2%	19.9%	50.1%	4.9%	0.5%	18.2%	0.2%

	資源問題での日中の協力関係ができる	日中政府間協議で妥協案が合意	日中関係全般に悪影響となる可能性	いずれ紛争に発展する可能性がある	その他	分からない	無回答
2006年	12.8%	20.2%	51.1%	11.3%	2.1%	1.8%	0.6%

16.日本は中国と一緒に常任理事国になるべき (日本は常任理事国になるべきか)

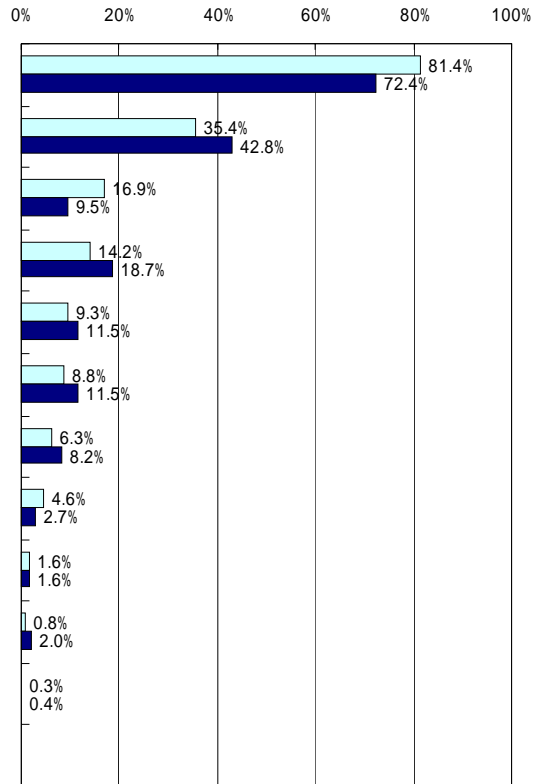
現在、国連の安全保障理事会の常任理事国になっているのは、アジアでは中国だけだが、日本も常任理事国になるべきだと思うか？それともなるべきではないと思うか？



17.北朝鮮、中国が日本の軍事的な脅威 (どこが日本にとっての軍事的脅威の地域か)

日本にとって軍事的な脅威だと感じる国・地域はどこか？

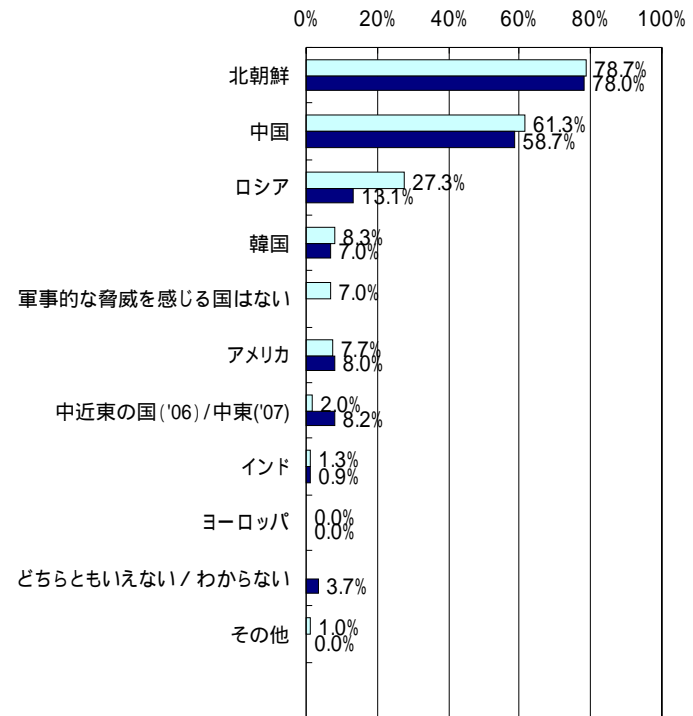
2007年【世論調査】 N=1000 MA



07年 N=1000

06年 N=1000

【参考】 2007年【有識者調査】 N=300 MA



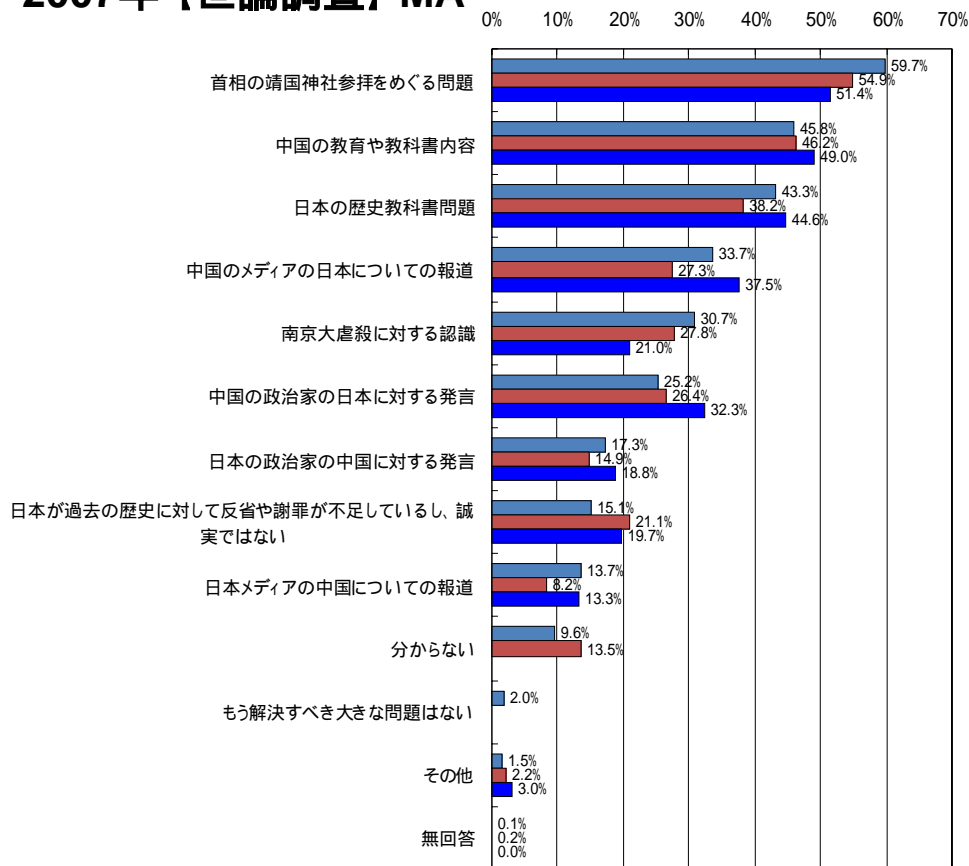
07年 N=300

06年 N=327

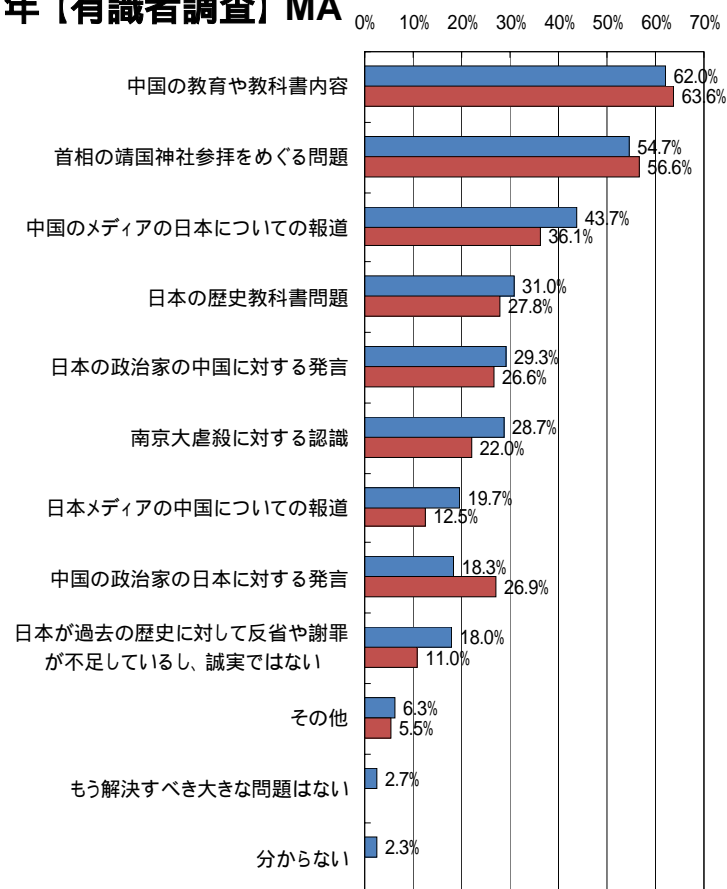
18.靖国参拝と中国の教育、日本の教科書 (歴史問題で解決をすべきこと)

日本と中国の歴史問題について、どの問題を解決することが重要だと思うか？(複数回答)

2007年【世論調査】MA



2007年【有識者調査】MA



07年 N=1000

06年 N=1000

05年 N=1000

07年 N=300

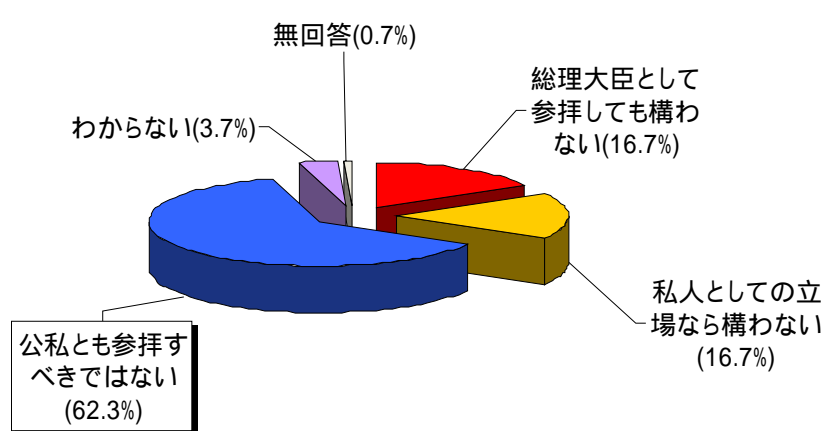
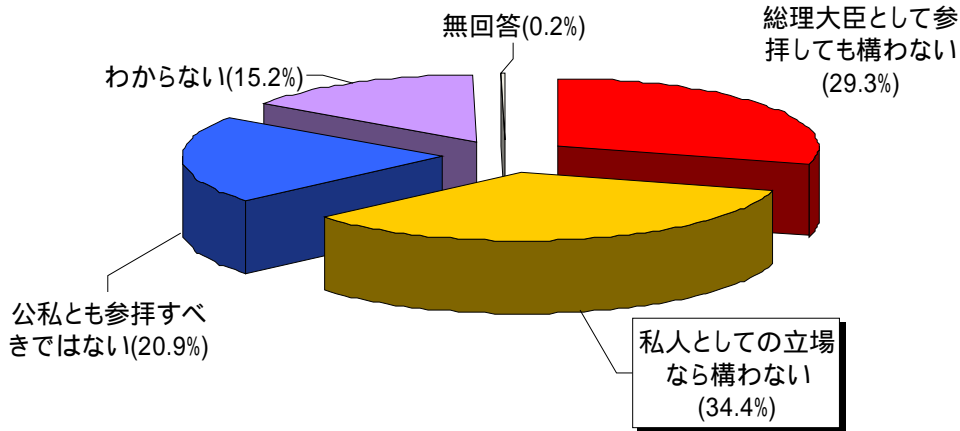
06年 N=327

19.国民と有識者の間で参拝問題をめぐる意識に乖離 (首相の靖国参拝問題)

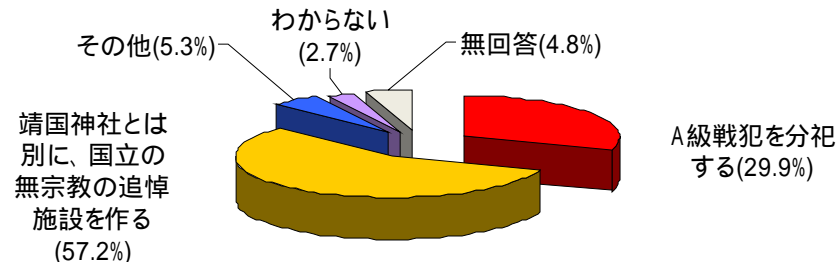
靖国神社へ総理大臣が参拝することについてどう思うか？

2007年 世論調査 [SA] N=1000

(参考) 2007年 有識者調査 [SA] N=300



(参考) 2007年 有識者のみ調査 上記設問で「参拝すべきではない」と答えた方(N=187) 「参拝問題をどう解決すればよいか。」



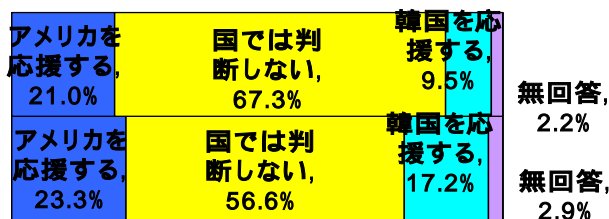
20. 中国を応援する人は少ない (北京五輪の決勝戦でどの国を応援するか)

ただし、2006年はワールドカップの決勝戦の場合であった。

北京でオリンピックのあなたの関心の高い競技種目の決勝戦で、あなたはどちらの国を応援するか？

【世論調査】SA

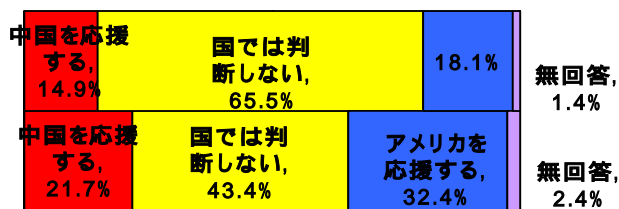
(ア) アメリカ 韓国が決勝戦で対戦する場合



【有識者調査】SA

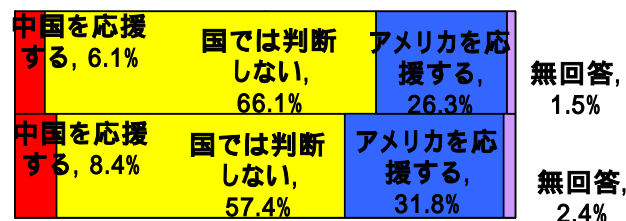
(ア) 中国 アメリカが決勝戦で対戦する場合

07年



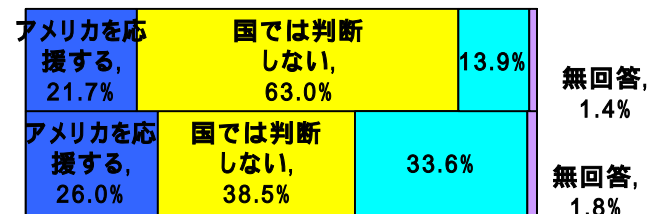
06年

(イ) 中国 - アメリカが決勝戦で対戦する場合



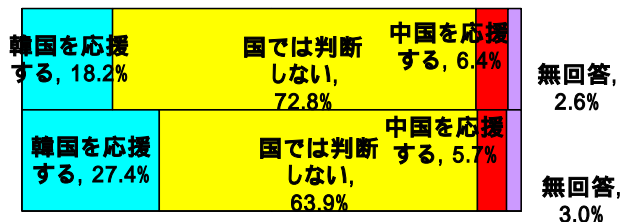
(イ) アメリカ - 韓国が決勝戦で対戦する場合

07年



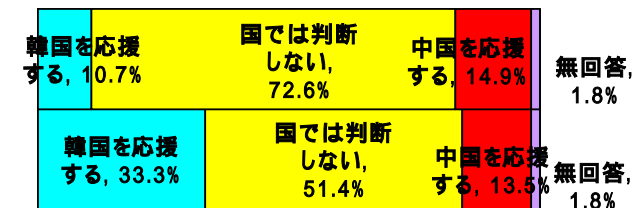
06年

(ウ) 韓国 中国が決勝戦で対戦する場合



(ウ) 韓国 中国が決勝戦で対戦する場合

07年

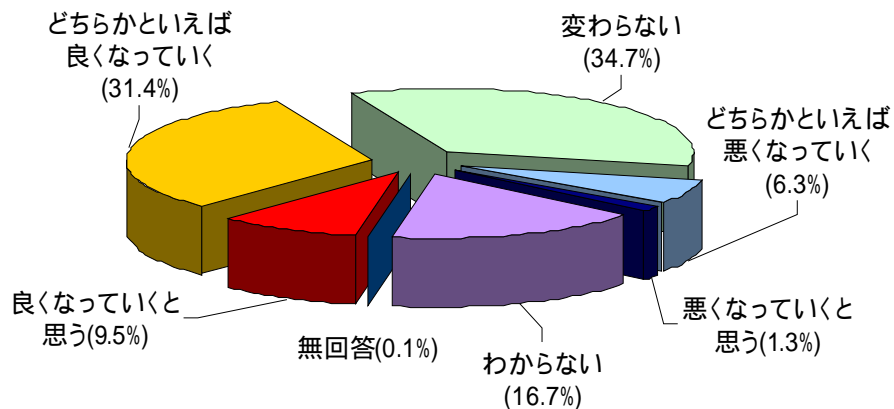


06年

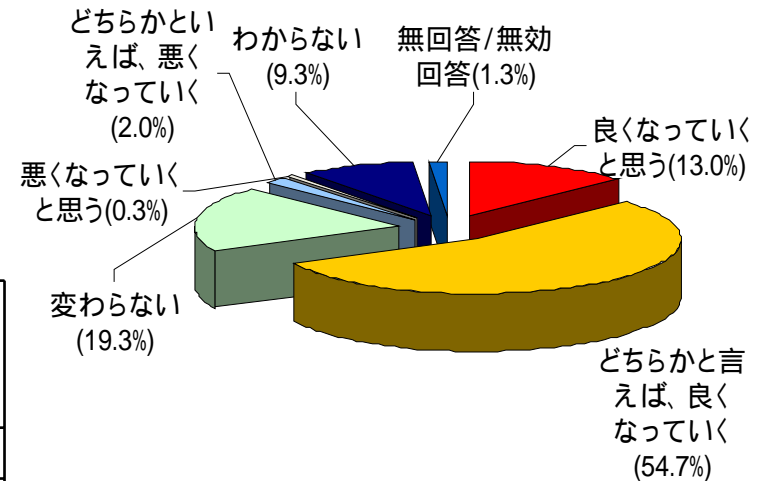
21. 今後の日中関係には楽観的 (今後の日中関係はよくなるのか)

今後の日中関係は良くなっていくと思うか？悪くなっていくと思うか？

2007年 世論調査 [SA] N=1000



(参考) 2007年 有識者調査 [SA] N=300

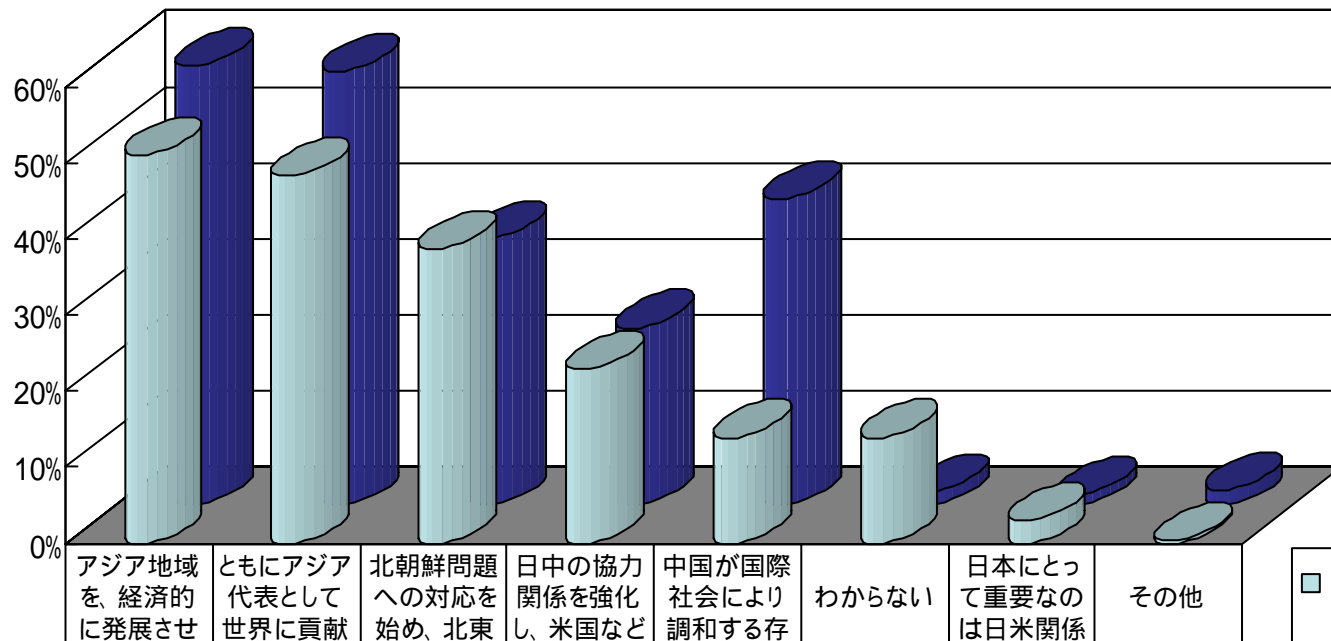


	良くなっていくと思う	どちらかといえば良くなっていく	変わらない	どちらかといえば悪くなっていく	悪くなっていくと思う	わからない	無回答
07年 N=1000	9.5%	31.4%	34.7%	6.3%	1.3%	16.7%	0.1%
06年 N=1000	18.2%	-	-	-	15.2%	66.2%	0.4%

22. アジアの将来のために協力し合う関係 (今後の日中関係はどうか)

今後どのような日中関係になっていくべきだと思うか？

2007年 世論・有識者調査 [MA]



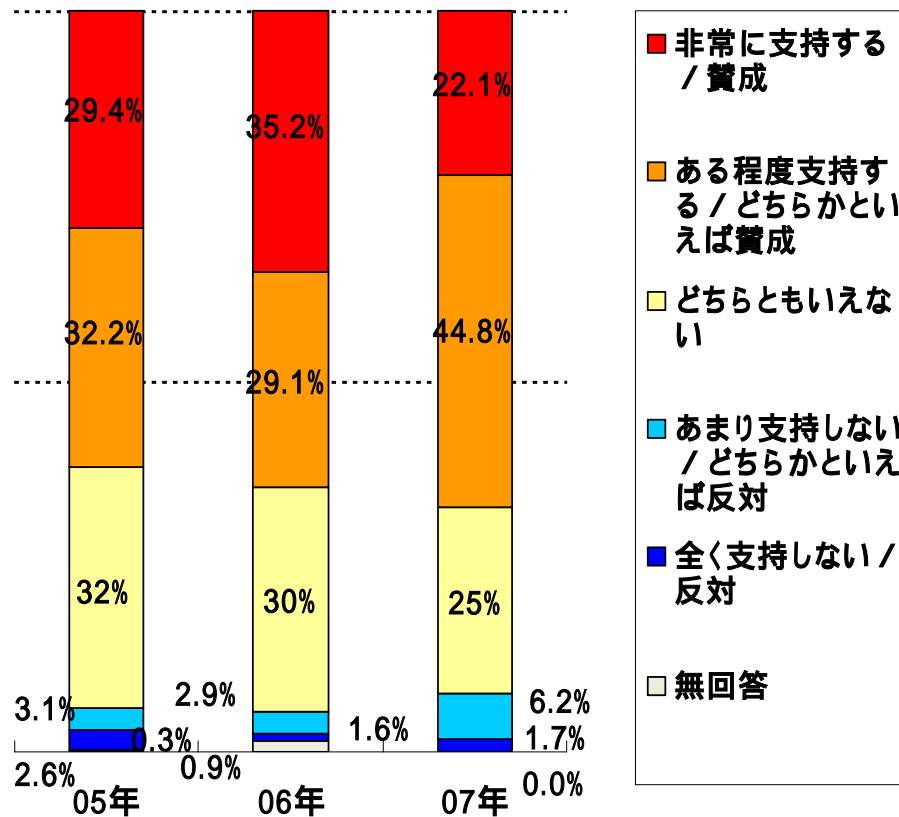
■ 世論調査 N=1000	51.0%	48.3%	38.7%	22.9%	13.9%	13.9%	3.0%	0.3%
■ 有識者調査 N=300	57.7%	57.0%	35.0%	23.3%	40.3%	1.7%	1.3%	2.0%

■ 世論調査
N=1000
■ 有識者調査
N=300

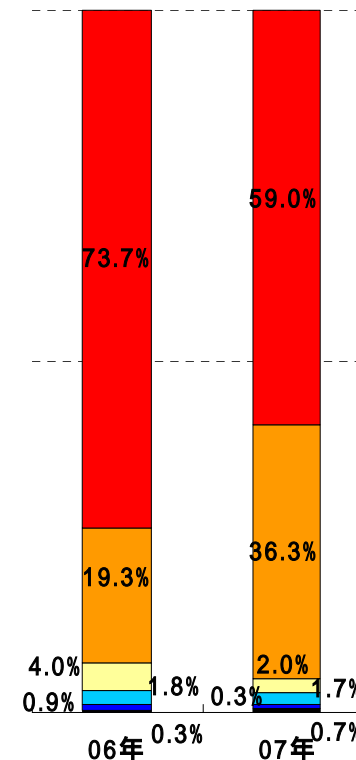
23. アジアでの日中協力には支持する (アジアでの中国との協力を支持するか)

日本がアジア地域で、中国と提携しアジア全体のために活動することを支持するか？

【世論調査】 N=1000 SA



〈参考〉【有識者調査】 N=300 SA

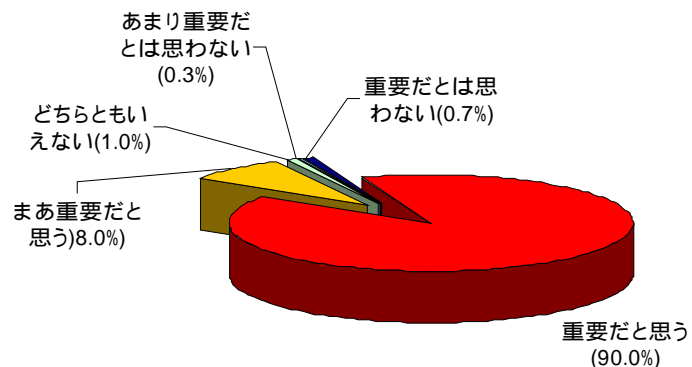
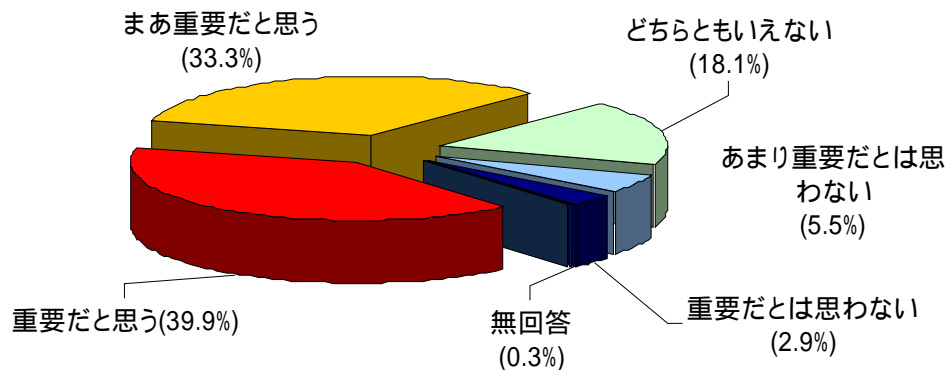


24. 日中の民間交流は極めて重要 (民間レベルの交流と日中関係の改善)

日中間の民間レベルの交流(議論・教育・芸術・旅行等)は、両国関係の改善に重要か？

2007年 世論調査 [SA] N=1000

〔参考〕 2007年 有識者調査 [SA] N=300



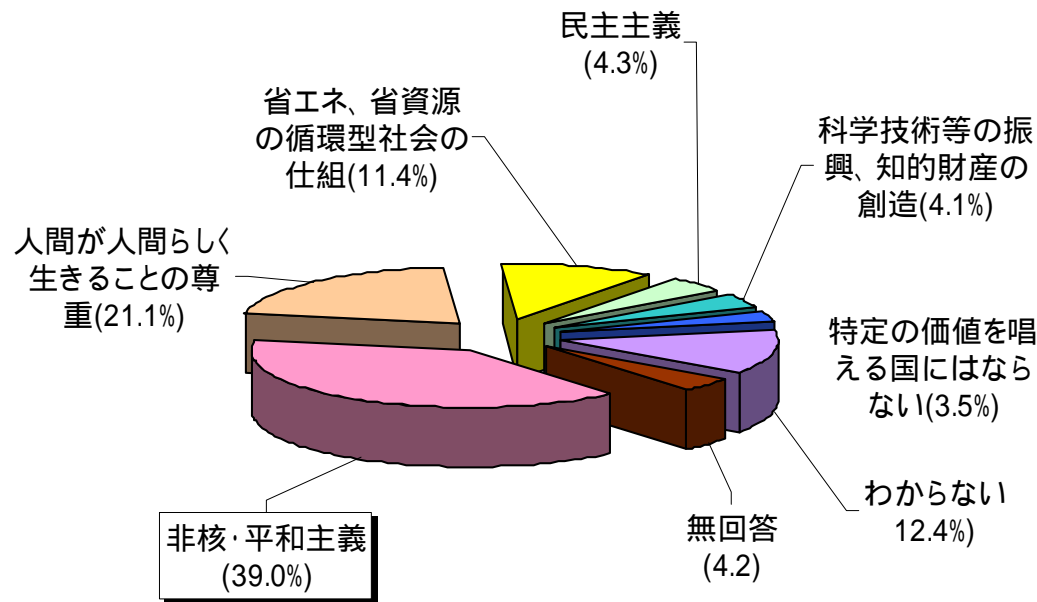
	重要 だと思 う	まあ重 要だと思 う	どちら ともい えない	あまり重 要だとは思 わない	重要だ とは思 わない	無回答
2007年	39.9%	33.3%	18.1%	5.5%	2.9%	0.3%
2006年	41.6%	30.7%	17.5%	7.5%	2.4%	0.3%
2005年	40.4%	35.1%	17.7%	4.5%	2.1%	0.2%

	重要 だと思 う	まあ重 要だと思 う	どちら ともい えない	あまり重 要だとは思 わない	重要だ とは思 わない	無回 答
2007年	90.0%	8.0%	1.0%	0.3%	0.7%	0.0%
2006年	82.9%	13.8%	1.2%	0.9%	0.6%	0.6%

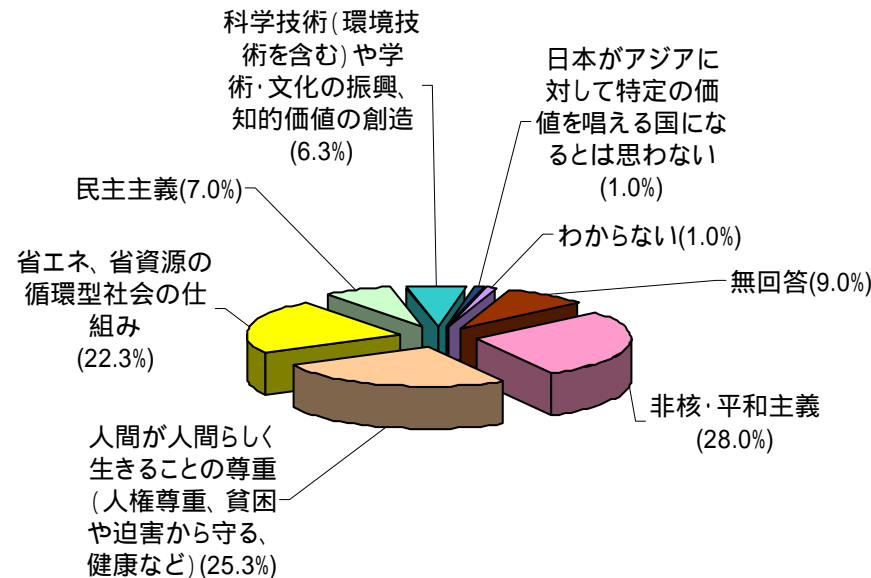
25.非核・平和主義こそ提唱すべき価値 (日本はアジアで何を提唱すべきか)

日本が今後、中国を含むアジアに向けて提唱し推進していくべき価値は、何が最も重要だと思うか？

2007年 世論調査 [SA] N=1000

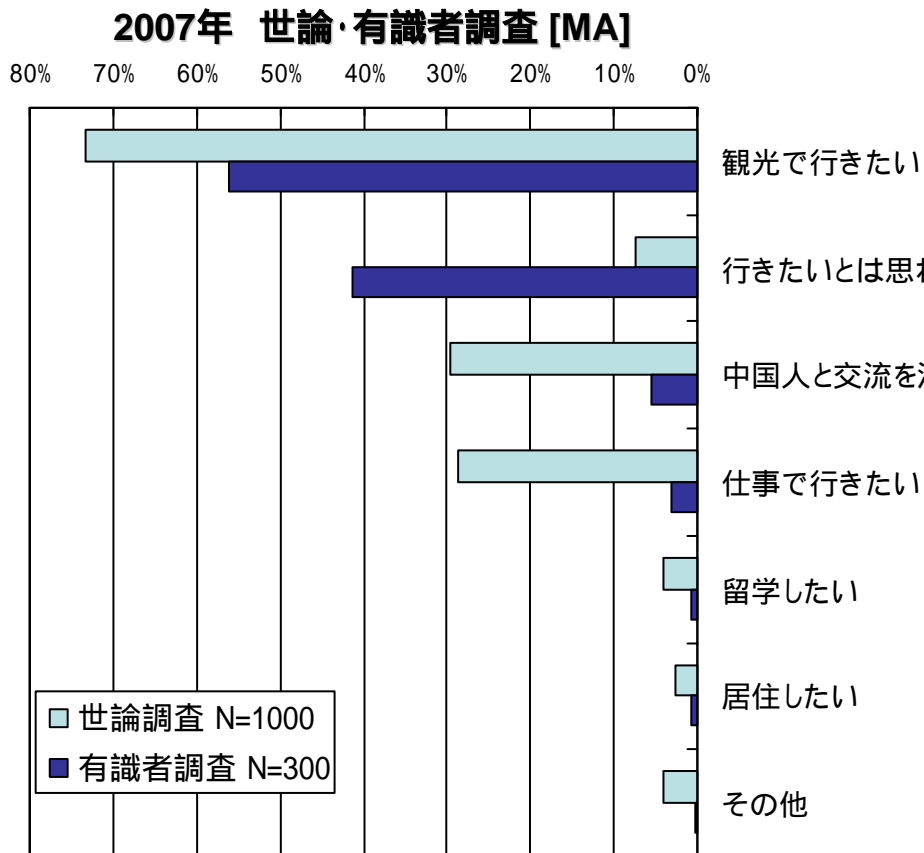


(参考) 2007年 有識者調査 [SA] N=300

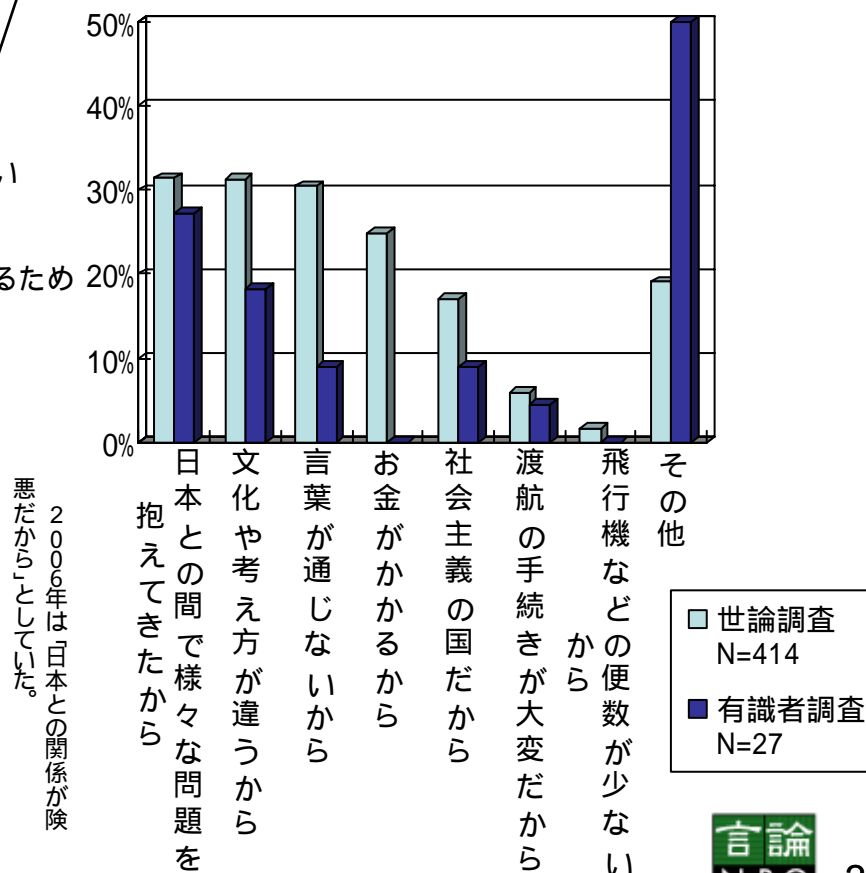


26.中国へは観光で行きたい (中国を訪問したいか)

中国に行きたいか？ (2007年 世論・有識者調査 [MA])



行きたいと思わない理由
(2007年 世論・有識者調査 [MA])



まとめ

- 中国との直接交流は少なく、認識を日本のニュースメディアに依存する構造は変化なし。
- 中国への印象と日中関係についてはこの一年間で改善傾向は見られる。だが、昨年までの悪化傾向に歯止めがかかった段階で、よい方向に転じたわけではない。
- 両国の首脳会談が日中関係の改善につながるかまだ評価が定まらない。
- 日本人は中国の影響力はアジアで増加し、日中間の経済はお互いが脅威との認識が強い。
- 靖国参拝問題では参拝に理解を示す国民と反対する有識者が対照的である。
- 今後の日中関係には楽観的な見方が多い。